

ぜんしんぜんしん 前進全新

～能登半島地震支援緊急募金を行って～

1月16日、17日に校内中央階段前と阪急武庫之荘駅付近で、能登半島地震支援緊急募金を行いました。被災地から遠く離れた私たちには何かと思い、先生方にも協力していただきながら、生徒会執行部で計画、準備、実施いたしました。募金に協力してくれた皆さん、ボランティアと男女バスケットボール部の皆さん、本当にありがとうございました。

合計募金金額はなんと **229,765円!!**

生徒会 staff

今回の募金活動は、とても寒い中であつたにも関わらず沢山の市尼生はもちろん先生方や地域の方々にもとても大きな額を募金していただいたり、沢山の暖かいお言葉をかけていただき、この町の暖かさを改めて知ることが出来ました。

今回の募金活動を通して、小さいお子さんからご年配の方まで沢山の人が協力してくださり、人の温かさを感じることが出来ました。また、応援の言葉をいただき、この活動をして良かったなと思えました。しかし、中には見て見ぬふりをする人もいました。全ての方がこのような活動に協力してくださるとより良い街作りに繋がるのではないかと思います、まずは自分から積極的に協力していきたいと思えました。

スケジュールが急に決まり、募金箱やポスター制作の時間が少ない状況でしたが、協力して作り上げ、無事に募金活動を終えることが出来ました。今回の経験を人生の糧として活かしていきたいと思えます。

ボランティア

今回の募金活動を通して、人同士の助け合いが大切であると学びました。直接的な助けはできなくても今自分に何が出来るのかを考え、間接的でも人を助けることが出来るということが分かり良い経験になりました。人士の助け合いとはできないことの埋め合いなと感じました。

募金ボランティアに初めて行って、感じるのは、家に取りに帰ってまで募金をしてくれる人がいたりして、心の優しい方が私達の近くにはいるんだなあと感じました。1間という短い時間でも多額の募金が集まった心が温まりました。

女子バスケットボール部

1月17日に行われた能登半島募金活動に参加させていただきました。武庫之荘駅の南口と北口に分かれて募金活動をしました。大きな声で「募金お願いします！」と呼びかけると通りかかった方々から沢山の善意をいただくことができました。中には千円札を入れてくださった人もいました。この募金活動に参加して、人と人が協力する姿に感動しました。本当にこの募金活動に参加して良かったと思えました。また機会があれば是非やりたいです。

男子バスケットボール部

今回のボランティア活動を通して、他府県との繋がりが大切だと思った。自分たちは駅までゴミを拾い、目立つところにはあまりなかつたが、所々にたくさんあつた。自分は駅の北側で募金箱を持って立っていた。15分ほどだったが前を通る人に色々な言葉をかけられたり、募金をしてくれたりと良い経験が出来た。能登半島で起きた地震への募金だったが、実際、29年前に阪神淡路大震災が起きた時も他府県で助けあって今があると思うと今後も助けて助け合えるという支え合うことが出来れば良いと思った。

今回、人生で初めて募金をして、思っていた以上に地域の皆さんがこの地震に関心、興味を持ち、頑張ってくださいと応援の言葉をかけてくださいました。しかし、それは高齢の方、お子さんをお持ちの方で、やはり、若い人たちは仕方ないことかもしれませんが、素通りして行くのがほとんどで、この日本を良くしていくには、若い方の力が必要だと思いますし、微力かもしれませんが僕たち高校生が声をかけ少しずつ興味を持っていただけらなと感じ、自分のためにもなりました。少し地震の被災にあつた方たちの力になれると思います。

1日目(1/16/火)

中央階段前に募金箱を持って立ちました。下校する生徒や部活に向かう生徒に募金をしてもらいました。

募金の呼びかけをしているとき、部活をしに北館に向かっている集団の一人が、「みんなで募金しよう！」と声をかけ、その集団の全員が募金してくれたということがあります。他にも先生が外まで募金しに来てくださったり、一人が立ち止まると、まわりの人たちも立ち止まって募金するという、優しさの輪が広がっていました。



2日目(1/17/水)

3時半頃から、バスケ部の皆さんが、中央階段前と武庫之荘駅付近での募金活動と、武庫之荘駅までの道の清掃をしていただきました。その後、他のボランティアに来てくれた皆さんと、武庫之荘駅の北側と南側に2か所ずつ立ち、募金活動を行いました。

募金箱にお金を入れながら、「寒い中お疲れさま。」「ありがとうございます。」「声をかけてくださった方や、阪神・淡路大震災での経験を話してくださった方、募金箱を持っている私たちを見つけて、遠回りをしてまで私たちのところに募金しに来てくださった方もいました。とても心があたたまりました。



集めたお金は、生徒会が責任をもって集計を行い、阪神・淡路大震災の1月17日にあわせ、赤十字社に募金しました。

<防災について>



市尼がある尼崎市など、私たちが住む地域では、南海トラフ巨大地震が「30年以内に70～80%の確率で発生する」と言われています。この地震によって予測される被害は、甚大なものです。皆さんはきちんと被害に備えていますか？

- ・防災バッグ(飲料水、保存食、救急用品、懐中電灯 等...)
- ・ハザードマップや避難場所を確認する。
- ・家具を固定しておく。
- ・家の中で安全なところを確保しておく。

どれだけ技術が発展しても、地震を止めることや被害をゼロにすることはできません。自分で自分の命を守ること、近くの人たちで助け合うことが大切です。今一度、自分は万全の対策ができているか確認してみませんか？

◆実は....!!

市尼のホームページに生徒会欄があることをご存知ですか？ 12月1日から生徒会が作成、更新しています。今回の募金についても記載しているので、今後も是非チェックしてみてくださいね。